

今年度最終の e-pros 主催による英語指導法研修会開催のご案内

一年を振り返り新年度へ向けての挑戦と対策 (通算 114 回)

協賛:エデュケーショナル ネットワーク、イー・スタッフ、教育新聞社、森上教育研究所

川村光一先生 (栄東中・高校教諭、橋架村塾主宰、「弾丸インプット」開発者)

畑中 豊先生 (いわき市立江名中教諭、「教師必携! 英語授業マネジメント・ハンドブック」著者)

お馴染みの川村先生と畑中先生。久々の e-pros 研修です。愉快で楽しい
熱血指導、気分一新、やる気十分、新学期へ向けて気合のスタートです!

日時 3月27日(日) 午前10時00分～午後4時00分 (正午～13時半 昼食)

講師 10:00～正午 川村 光一先生 (埼玉県栄東中学校・高等学校教諭)

① 講座題「21世紀を生き抜くグローバル人材の育成と英語教育」

ー 弾丸インプットとアウトプットを軸に ー

2020年、大学入試が変わる。21世紀を生き抜く現在の中・高校生は英語を駆使してコミュニケーションを図る力がどうしても必要である。30年前、私の中1の教え子たちは現在完了形や過去形を自由に使って会話を楽しんでいた。この活動を支えたのは「弾丸インプット」と「イングリッシュサロン」だ。これからの時代を元気に生きるには、そのための生きた英語を使う知識と知恵を備えた人間育成が必要。効果的なインプットと気づきをベースにした川村先生の発表にご期待ください。

13:30～16:00 畑中 豊先生 (福島県いわき市立江名中学校教諭)

② 講座題「Use English ～生徒に英語を使わせる仕掛け～」 (少々延長の場合があります)

生徒に出来るだけ多くの英語を使わせる活動を紹介します。「こうかん絵日記」という活動では、日常生活の「あんなこと、こんなこと」を5文程度で書かせグループで共有させます。バレンタインタインデーであれば made や bought、got や gave など、教科書で学習したことをタイムリーに使わせることで定着を図ります。生徒が「教科書で学習したことは役に立つ」と思ってくれたらしめたもの。“What ‘s new”や” Today you are Sazae-san”という帯学習とリンクさせることで繰り返し使用できる場を確保し、更なる定着を図る工夫も紹介します。ミニホワイトボード、ミニカードなど小道具の活用実践例もご紹介します。

会場 東京・上野駅入谷口前 岩倉高等学校 3階視聴覚室

参加費 一人 4,000円 (2名以上のグループ、あるいは e-pros 会員は 3,500円に割引になります)

申込み方法: 下の申込み書にご記入の上、[Fax03\(6273\)0081](mailto:info@e-prosjp.com) へお申込みください。

申込み書を使わず同じ項目の内容をご記入の上、info@e-prosjp.com へ送信頂いても結構です。

e-pros 主催 3月期英語指導法研修会 参加予約申込み書

① 氏名	(参加数	名)	
② 住所 〒 Fax番号	(メールアドレス	@)
② 勤務先(学生は大学名)			

NPO法人教育情報プロジェクト 〒162-0054 東京都新宿区河田町6-6

電話 03-3341-6339

e-mail: info@e-prosjp.com

URL: <http://www.e-prosjp.com>